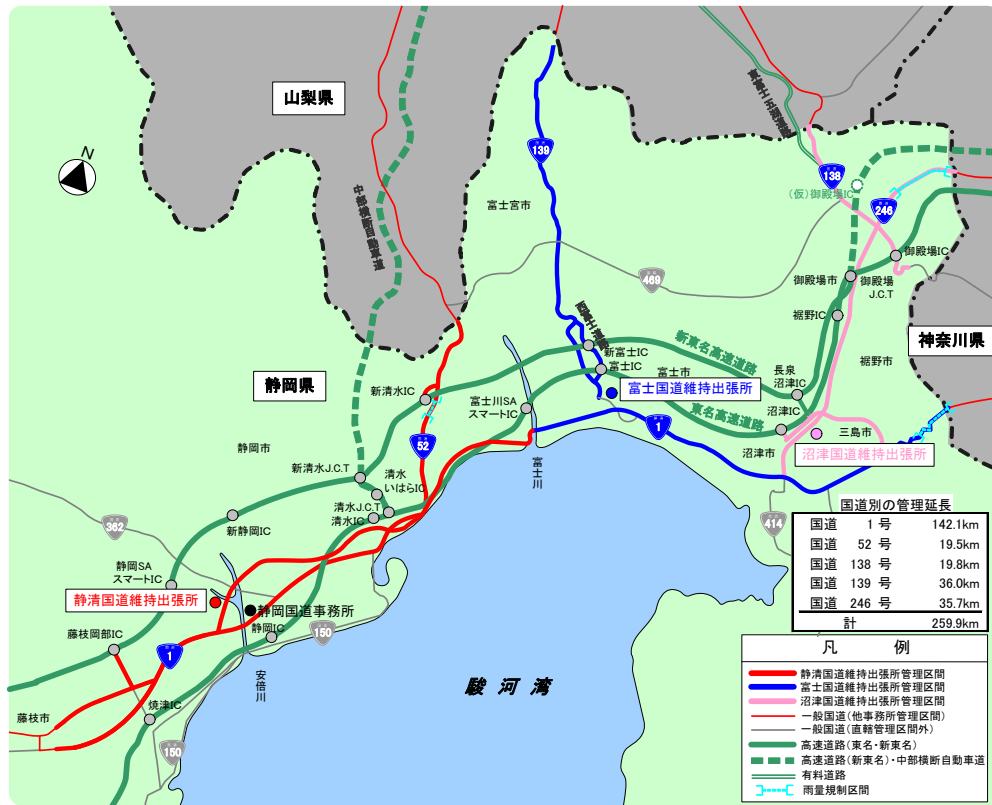


維持管理関係

静岡国道事務所では、静岡県東部・中部地域の国道1号・52号・138号・139号・246号の5路線約260kmを3つの国道維持出張所で管理しています。

維持管理事業では、安全・安心な「静岡」の暮らしを実現するため、日常の道路パトロール等による適切な道路維持管理をはじめ、老朽化が進行する橋梁の補修、東海地震等に備えた震災・防災対策などを推進し、今後も「安全」で「安心」して通行できる道路を確保します。

◆静岡国道事務所管理道路網図



◆道路管理

道路パトロールによる日常的な道路管理のほか、防災点検、橋梁点検など、道路構造物の定期的な点検、雪氷作業などを実施することで、「安全」で「安心」して通行できる道路を確保します。



【道路パトロールで発見された道路損傷の復旧】



【定期点検により橋梁をきめ細やかに管理】



【雪氷作業によりスリップ事故防止を図る】



【雨量規制区間の通行規制により二次災害を防ぐ】



【防災点検により危険箇所の有無を確認】



【緊急時も速やかに対応し「安心」「安全」を確保】

維持管理関係

■橋梁の耐震補強・補修

橋梁補修は、橋梁の高齢化や自然環境(雨、風など)、外的要因(大型車交通量など)等による損傷を補修し、安全で円滑な交通の確保、沿道や第三者への被害防止及び橋梁の延命化を図るために実施します。また東海地震等、大規模な地震が発生した時、道路の通行が確保されていることが被災地域の救援に不可欠です。通行、移動手段が遮断されると負傷者の搬出や救護物資の移送がままならず被害の拡大につながります。このため、大規模地震に見舞われた際、甚大な被害が生じないよう、橋梁の耐震補強を実施することで、「安全」で「安心」して通行できる道路を確保します。

■防災対策

落石や土砂崩れなどを防止するため、防災対策を進めています。
対策を進めることで、異常気象時事前通行規制区間を無くします。



〈参考〉

最近の大雨等による通行止め実績 (平成26年2月28日現在)

平成 24年	5月 3日	国道 1号 興津IC、国道 138号 須走、国道 246号 小山
	6月 19日～20日	国道 1号 箱根、国道 138号 須走、国道 246号 小山
	7月 14日	国道 138号 須走、国道 246号 小山
	9月 30日～	国道 138号 須走
	10月 1日	国道 1号 興津IC、国道 138号 須走
平成 25年	1月 14日	国道 1号 箱根、国道 138号 須走、国道 139号 根原
	9月 15日～16日	国道 138号 須走、国道 246号 小山
	10月 16日	国道 1号 興津IC
平成 26年	2月 14日～18日	国道 1号 箱根、国道 52号 宍原、国道 138号 須走 国道 139号 根原

雨量規制区間位置図



※小山においては、現場状況により連続雨量が250mmに満たない場合においても通行止めを行う場合があります。